

農学生命科学部附属 白神自然環境研究センター 研究紹介セミナー

本年 4 月から新たなスタートをきった白神自然環境研究センターの業務の概要と教員の研究内容を紹介するセミナーを開催します。皆さまのご参集をお願いいたします。



- 日 時 2018年12月5日(水) 15:00から18:00
- 場 所 コラボ弘大8階、八甲田ホール
- 主 催 弘前大学農学生命科学部附属 白神自然環境研究センター
- 問い合わせ 白神自然環境研究センター 石川幸男 0172-39-3708

主催者から

豊かな自然が残されている白神山地はその一部が世界自然遺産にも登録され、地球規模の環境変動のモニタリングの場としてユネスコからも重視されています。このため、管理主体である省庁等によって生態系のモニタリング体制が築かれてきました。弘前大学は、わが国4か所の世界自然遺産地域のうちでも唯一、大学独自で世界自然遺産に密接に関係した研究所である白神自然環境研究所を2010年10月に設置しました。研究所では発足当時から4部門体制（植物、動物、地象気象、教育文化）を構築して、遺産地域内外における生態系モニタリングを中心にすえた自然誌の解明と、それに関わるこの地域の文化的特性の解明に取り組んでまいりましたが、本年4月から新たに農学生命科学部に附属する白神自然環境研究センターとして、新たなスタートをきりました。

当センターでは農学生命科学部のスケールメリットを生かしつつ、従来からの業務である、世界自然遺産地域を含むこの地域の生態系モニタリングと生物標本の収集保管を受け継いで研究をより一層進展させ、同時にその成果を地域に還元して地域振興に生かすことを目指しております。そのためには、農学生命科学部ならびに学内他部局の皆さまとの間で、これまで以上により緊密な連携協力関係を構築することが不可欠です。

本セミナーでは白神自然環境研究センターの主な業務とこれまでに得られた成果の概要を学内の皆様に紹介します。さらに、専任教員ならびに協力教員によって取り組まれている個別の研究内容も紹介します。学内各部局の皆さま多数にご参加いただき、連携協力関係の構築に向けた活発な意見交換をお待ちしています。どうぞよろしくお願いたします。

時間	部門	氏名（所属）*	内容
15：00～15：20		石川幸男	研究センター改組の経緯と業務の紹介
15：20～15：30	植物	石川幸男	白神での植物群落モニタリングと主要樹木の気候応答解析
15：30～15：40		山岸洋貴	白神山地における山稜部の植生変化に関する研究 ～特に偽高山帯に注目して～
15：40～15：50		殿内暁夫	白神山地の微生物
15：50～16：00	動物	中村剛之	白神山地における昆虫の種多様性の研究と寒冷地に適応した昆虫の分類学的研究
16：00～16：10		大高明史（教育）	湧水環境に住む生物：白神山地十二湖と八甲田山グダリ沼での事例
16：10～16：20	休憩		
16：20～16：30	地象	檜垣大助	白神山地の地すべりが森林植生に及ぼす役割
16：30～16：40	気象	松山信彦	白神山地の土壌
16：40～16：50		石田祐宣（理工）	白神山地落葉広葉樹林の気象と水・炭素循環の特徴
16：50～17：00	教育文化	上條信彦（人文社会）	ヒトと自然とのかかわりの歴史の変遷 白神山地周辺から
17：00～17：10	植物	本多和茂	白神山地に自生する植物の繁殖特性の新たな理解にむけて～シラネアオイおよびカタクリを中心に～
17：10～17：20	地象気象	丹波澄雄（理工）	ICTを用いた白神地域情報の収集
17：20～18：00	討論		

*：所属明示がない教員は、農学生命科学部。